

一般社団法人日本医療薬学会
2020年度第2回定例理事会 議事録

一．開催日時： 2020年8月27日（木） 13時30分～17時50分

二．開催場所： インターネットを介したウェブ会議（Zoomを利用）

三．出席者

会 頭： 奥田 真弘

副会頭： 山田 安彦、山本 康次郎、武田 泰生

理 事： 石井 伊都子、石澤 啓介、出石 啓治、大谷 壽一、河原 昌美、
吉光寺 敏泰、崔 吉道、齋藤 秀之、齋藤 嘉朗、田崎 嘉一、
寺田 智祐、村木 優一、百瀬 泰行、矢野 育子

監 事： 大森 栄、佐々木 均、望月 眞弓

陪席者

年会長： 山田 清文

顧 問： 木平 健治、安原 真人、和田 一夫

事務局： 星 隆弘

欠席者

理 事： 鹿村 恵明、富岡 佳久、

四．議長： 奥田 真弘

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 18名の出席があり、定款第38条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1. 2020年度第1回臨時理事会議事録の確認

議長より、本年6月27日に開催された2020年度第1回臨時理事会（第一部、第二部）の議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。

2. 協議事項

(1) 2021年度事業計画（案）

石澤理事より、2021年度事業計画案の説明があった。協議した結果、一部の記載事項を加筆修正し次回の理事会で再審議をすることとなった。

(2) 2021年度予算（案）

崔理事より、2021年度予算案の説明があった。2020年度予算に計上しているWeb

上で稼働する認定申請・審査システムの構築費用を繰り越して計上することなどが説明された。協議した結果、了承された。なお、次回の理事会に再度取り上げ、改めて確認することとなった。

(3) 各学会賞受賞者及び論文選考

1) 功績賞授賞者の決定

議長より、功績賞・振興賞選考委員会において、今年度の功績賞授賞候補者として本理事会に3名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の3氏への功績賞授与が了承された。(以下、五十音順)

- ・河原 昌美 氏 (愛知学院大学)
- ・武田 泰生 氏 (鹿児島大学病院)
- ・宮崎 長一郎 氏 (有限会社宮崎薬局)

2) 振興賞授賞者の決定

議長より、功績賞・振興賞選考委員会において、今年度の振興賞授賞候補者として本理事会に2名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の2氏への振興賞授与が了承された。(以下、五十音順)

- ・折井 孝男 氏 (NTT 東日本関東病院)
- ・濱 敏弘 氏 (がん研究会有明病院)

3) 日本医療薬学会賞授賞者の決定

武田理事より、学術関連賞選考委員会(及び日本医療薬学会賞等選考小委員会)において、今年度の日本医療薬学会賞授賞候補者として、本理事会に1名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、山田氏への日本医療薬学会賞授与が了承された。

- ・山田 安彦 氏 (東京薬科大学)

4) 学術賞授賞者の決定

武田理事より、学術関連賞選考委員会(及び日本医療薬学会賞等選考小委員会)において、今年度の学術賞授賞候補者として、本理事会に1名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、森田氏への学術賞授与が了承された。

- ・森田 真也 氏 (滋賀医科大学医学部附属病院)

5) 奨励賞授賞者の決定

武田理事より、学術関連賞選考委員会(及び日本医療薬学会賞等選考小委員会)において、今年度の奨励賞授賞候補者として、本理事会に4名の候補者を推挙した経緯として、今回5名より応募があったこと、本賞の選考規程では授賞は原則として3名以内とされているため日本医療薬学会賞等選考小委員会で十分な時間をかけて慎重に議論された結果、規定数を超える4名を授賞候補者として選考したこと、さらに学術関連賞選考委員会でも同様の選考結果となった経緯が説明された。

協議した結果、次の4名への奨励賞授与が了承された。(以下、五十音順)

- ・尾田 一貴 氏 (熊本大学病院)
- ・小林 一男 氏 (公益財団法人がん研究会有明病院)
- ・齋藤 佳敬 氏 (北海道大学病院)
- ・横山 雄太 氏 (慶應義塾大学薬学部)

6) Postdoctoral Award 授賞者の決定

武田理事より、学術関連賞選考委員会(及びPostdoctoral Award 選考小委員会)において、今回の応募者25名に係る選考を進めた結果、今年度の学術賞授賞候補者として、本理事会に10名の候補者を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の10名へのPostdoctoral Award 授与が了承された。(以下、五十音順)

- ・朝居 祐貴 氏 (三重中央医療センター)
- ・宇野 貴哉 氏 (国立循環器病研究センター)
- ・大橋 健吾 氏 (大垣市民病院)
- ・片田 佳希 氏 (京都大学医学部附属病院)
- ・神谷 貴樹 氏 (滋賀医科大学医学部附属病院)
- ・末次 王卓 氏 (九州大学病院)
- ・スタッフ 由紀子 氏 (金沢大学附属病院)
- ・瀬山 翔史 氏 (慶應義塾大学病院)
- ・平出 誠 氏 (星薬科大学)
- ・星川 昂平 氏 (浜松医科大学附属病院)

7) 論文賞受賞論文の決定

① 医療薬学誌論文賞授賞の決定

武田理事より、学術関連賞選考委員会(及び医療薬学誌論文賞選考小委員会)において、今年度の医療薬学誌論文賞の授賞候補として、本理事会に3編の候補論文を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の3編への医療薬学誌論文賞の授与が了承された。(以下、掲載順)

- ・論文題目(一般論文)

「外来糖尿病患者に対する「薬剤師外来」の成果」

著者/白髪恵美, 大西順子, 廣本 篤, 李 美淑, 手嶋大輔, 毎熊隆誉

(医療薬学 Vol. 45, No. 3, 135-142)

- ・論文題目(一般論文)

「ナショナルレセプトデータベースを用いた周術期せん妄の発症要因に関する研究」

著者/榊原由子, 落部達也, 甘利涼香, 頭金正博

(医療薬学 Vol. 45, No. 4, 195-207)

- ・論文題目(一般論文)

「アイトラッキング手法を用いた薬剤師の視線動向に基づく調剤エラーの発生

メカニズムの解明」

著者／辻敏和，永田健一郎，佐々木恵一，末次王卓，渡邊裕之，金谷朗子，増田智先

(医療薬学 Vol. 45, No. 9, 493-503)

②JPHCS 誌論文賞授賞の決定

武田理事より、学術関連賞選考委員会（及び JPHCS 誌論文賞選考小委員会）において、今年度の JPHCS 誌論文賞の授賞候補として、本理事会に 3 編の候補論文を推挙した選考経緯が説明された。協議した結果、次の 3 編への JPHCS 誌論文賞の授与が了承された。（以下、五十音順）

・論文題目

「Multiday corticosteroids in cancer chemotherapy delay the diagnosis of and antimicrobial administration for febrile neutropenia: a double-center retrospective study」

著者／Hiroki Uda, Yukio Suga, Eriko Taraba, Angelina Yukiko Staub, Tsutomu Shimada, Yoshimichi Sai, Masami Kawahara and Ryo Matsushita (JPHCS 2019 5:3)

・論文題目

「Incidence and risk factors of neonatal hypoglycemia after ritodrine therapy in premature labor: a retrospective cohort study」

著者／Shoko Shimokawa, Akiko Sakata, Yukio Suga, Kazuya Isoda, Shingo Itai, Katsuhiko Nagase, Tsutomu Shimada and Yoshimichi Sai (JPHCS 2019 5:7)

・論文題目

「Investigation of factors that cause insulin precipitation and/or amyloid formation in insulin formulations」

著者／Yui Ohno, Tomohiro Seki, Yu Kojima, Ryotaro Miki, Yuya Egawa, Osamu Hosoya, Keizo Kasono and Toshinobu Seki (JPHCS 2019 5:22)

(4) 2020 年度名誉会員委嘱候補者の推薦

議長より、2020 年度の名誉会員の委嘱候補者として、名誉会員推薦内規に則り審議した結果、今年度は該当者がいないことが報告された。

(5) 各専門薬剤師制度の運営に関する事項

寺田理事より、各専門薬剤師制度の細則の記載整備として、分かりやすい文言への整備等のために改正すること、続いて医療薬学専門薬剤師の暫定措置や研修ガイドライン、症例の記載例などの整備に係る報告があった。協議した結果、細則の改正が了承された。

(6) 創立 30 周年記念事業に係る対応

山田副会頭より、新型コロナウイルスの影響を受け、本年 9 月 19 日に開催予定

であった創立 30 周年記念シンポジウム及び祝賀会のみならず、それらの代替策となる座談会についても 7 月及び 8 月の感染拡大状況に鑑み開催を見合わせることにし、来年度に延期することが説明された。併せて 30 周年記念誌については、前述の座談会の懇談内容を掲載する形で編纂したいという方針が説明され、協議した結果、了承された。

(7) 2020 年度医療薬学学術小委員会の採択

齋藤（秀）理事より、2020 年度医療薬学学術小委員会の採択について、今回は 2 件の応募があり、医療薬学学術小委員会で審議した結果、条件付きで当該 2 件を採択可能という結果及び採択の理由や条件等の説明があった。協議した結果、2 件ともに採択することが了承された。なお、各案件の研究代表者には、採択条件を通知するとともに、採択条件に沿った活動の実施を求めることとなった。

(8) 2021-2022 年度代議員選挙に係る検討

議長より、代議員選出規程に基づく代議員の選出に係る問題点等に係る説明と意見の伺いがあった。前回の代議員選挙（以下、選挙）では公益社団法人に対応した選出規程に改正し当該規程下での選挙を実施したこと、その問題点として会員数が少ない職種の方々が代議員になることが難しくなった状況等が報告された。その対応案として、立候補者と推薦候補者の選出方法の見直し等に係る相談があり、協議した結果、今回の選挙は現行の選出規程をもって選出作業を進め、その結果に鑑み改正の必要性を検討することとなった。また、選挙スケジュールの見直しや次回の理事会では、代議員選挙管理委員会及び代議員候補者推薦委員会を編成することが確認された。

(9) 第 12 回臨時社員総会、第 13 回定時社員総会の開催計画

事務局より、第 12 回臨時社員総会及び第 13 回定時社員総会の開催日程、会場及び開催形式に係る相談があった。協議した結果、前者は本年 11 月 15 日（日）に長井記念ホールにて小規模（成立要件を充足する形）で開催することとし、後者は同様に来年 3 月後半の長井記念ホールの利用可能な日程での開催を検討することとなった。

(10) 会費の遡及納入に係る嘆願への対応（1 件）

議長より、前年度会費の遡及納入に係る 1 件の嘆願について説明があり、協議した結果、本嘆願を了承することとなった。

3. 報告事項

(1) 各委員会の編成情報

事務局より、今期より新たに編成された各委員会の編成名簿が報告された。

(2) メール審議による理事会審議の結果報告

議長より、前回の理事会から当理事会が開催されるまでの間に、メールをもって理事会で審議された5件の案件の概要と審議結果が報告された。

- ・がん専門薬剤師研修施設（2020年度第二期）の新規認定（8/3承認）
- ・学術小委員会等研究活動費の論文公表時における英語表記（8/3承認）
- ・医薬品等行政評価・監視委員会の委員候補の推薦（8/3承認）
- ・共催申請への対応（8/13承認）
- ・地域薬学ケア専門薬剤師研修施設（基幹施設）の新規認定（8/12承認）

上記5件の審議については、全て了承され実施されていることが報告された。

(3) 第30回年会の準備状況報告

山田（清）年会長より、第30回年会の準備状況として、7月31日をもって登録を締切った事前参加登録者数が4,958名（正会員4,328名、学生会員103名、非会員一般532名、非会員学生21名）であったこと、続いて9月7日から11月1日までの間にオンライン参加登録を受け付けること、それらから見込まれる収支予算に関する報告があった。

(4) 2020年度の医療薬学公開シンポジウムの開催計画・実施状況

事務局より、8月22日に第78回シンポジウムが宇部市で開催されたこと、また第80回シンポジウムが9月27日に前橋市で予定通り開催される見込みであること、第77回岐阜市と第79回盛岡市については、開催日や開催方法を再検討中であることなどが報告された。

以上をもって全ての議事の審議及び報告を終了したので、議長は17時50分に閉会を宣言し、解散した。